



## 脳神経内科とは

「脳神経内科とは、どのような仕事をしているのか？」を、なんだか分かっているような、分かっていないような方が、一般の方はもちろんのこと、医療従事者でも比較的多いのかなと感じています。そこで今回、一般的な脳神経内科のイメージに関して、当院スタッフの各部署（医局・病棟看護部・リハビリ科・放射線科・検査科・地域連携室・事務）の約20数名にアンケートをとってみました。

《アンケート結果》⇒ ただし順番は部署と関係なく順不同です

- 脳梗塞、脳出血などの血管障害や Parkinson 病などの神経難病や認知症などの、認知・感覚・運動の異常に対して治療を行う。
- 神経難病のスペシャリスト・随伴の呼吸器管理の必要があるイメージ。
- 重箱の隅をつつく・疑り深い・ストイック、失語など高次脳機能面を詳しく評価する、専門的な知識が豊富。
- 他の診療科に比べて細やかな病状管理が必要である、複雑な症状が出やすく診断が付けにくい、難しく細かいイメージ、内服管理が難しい、知識がないとわからないので自分たちの勉強が必要。
- 治療が難しい病気が多い、神経難病など長期的な治療が必要。
- 脳・脊髄・神経や筋肉等の病気を診ているイメージ、神経難病の方など細やかな調整が必要な状態の方を診ているイメージ、難しく大変そう…etc



脳神経内科部長  
巖本 靖道

という結果でした。さすがに医療従事者ということで、実際もほぼ前記のイメージ通りだと思います。「重箱の隅をつつく・疑り深い」という言葉のイメージは良くはないですが、実際はこの言葉通りに研修医の頃から指導・訓練されてきましたので間違っていないです。ただし、「内服管理が難しい、随伴の呼吸器管理の必要がある。」などは脳神経内科に限らず、他の内科でも必要で重要であると思われます。

いかがでしょうか。もちろん、アンケート内容以外の他の脳や神経疾患に関する診療・検査・診断・治療も行っております。わかりづらいかもしれませんが、脳神経内科の御仕事に関して、少しでも御理解頂ければ幸いです。

(尚、お忙しい中、アンケートに御協力して頂いた皆様方には深謝申し上げます。また、脳神経内科について、もっと深く知りたいという方は、ぜひ直接僕のところにお越し下さい。)

## 看護の日のイベントを開催しました！

皆さんは「看護の日」という記念日をご存知でしょうか。

この日は1990年に厚生省（現：厚生労働省）によって制定されました。看護の日は、看護する心や助け合う心を広く知ってもらうために、イギリスの偉大な看護師フローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日に設けられました。

当院では5月10日、この日にちなんで「看護フェア」を4年ぶりに開催することができました。豊中市のキャラクターマチカネくんにも協力頂き、地域の方々に看護や医療職の仕事を知って頂くと共に触れ合える時間となりました。これからも毎年皆さんの健康と幸せを願いイベントの開催を予定していきます。どなたでも参加できます。楽しみにしていて下さい。





## 栄 養 科



「ミールラウンド」という言葉をご存知でしょうか？

食事時に病棟へ行き、実際に患者様の摂取状況を評価することを「ミールラウンド」と言います。

当院では、管理栄養士が昼食時に担当している病棟へ行き、患者様の摂食量や嚥下の状態、今の食事が患者様の状況に合っているか等を見に行きます。

入院初日から、ミールラウンドにて患者様の食事摂取状況を実際に確認する事で、食事形態に問題があるのか、量に問題があるのか、患者様自身の嚥下状態に問題があるのか等を評価し、対応することができます。

早期に対応することで、その後の栄養状態の改善の速さに関係することも多々あります。

また、嚥下障害の度合いが栄養状態やリハビリ訓練のおかげで徐々に改善してくると、とろみをつけるなどの工夫をしなくても食べられるようになることもあります。

その時は、いきなり次の段階のお食事を出すのではなく、1品準備してST（言語聴覚療法士）と一緒に安全を確認してからステップアップを行うなど多職種で、協力して患者様に安全なお食事の提供をしています。

## 緩和ケア病棟 ボランティア活動のご紹介

千里中央病院の緩和ケア病棟では、コロナ禍で中断していたボランティアの受け入れを2023年9月に再開し、現在27名の登録ボランティアにより様々な活動がおこなわれています。

今回はその活動内容についてご紹介したいと思います。

### ◎ティーサービス

平日の14時～16時に、デイルームで患者様へのお菓子・コーヒーを提供しています。また、体調の問題等でデイルームへ来るのが難しい方へは病室への配達も行っています。

コーヒーは当院職員オススメのもので、患者様からも「美味しい」と評判です。



### ◎アートセラピー

月2回、14時～17時に実施しており、患者様が塗り絵やうちわなどの作品を作る補助や資材提供をおこなっています。作品は患者様のお部屋やデイルームに飾っています。



### ◎傾聴

週1回程度、傾聴士の資格を有するボランティアが患者様1、2名に対し1回15～30分程度の傾聴をおこなっています。



他にも・・・

緩和ケア病棟の季節の飾りつけ、誕生日カードやウェルカムメッセージカードの作成、緩和ケア病棟の季節のイベントの準備や参加など様々な活動をおこなっています。

・ボランティア活動を通して、患者様がその人らしい日々を過ごせるような支援を今後も続けていきたいと思えます。

～千里中央病院では緩和ケア病棟でボランティアとして活動して下さる方を募集しています～  
詳しくは当院のホームページをご覧ください。

## 編 集 後 記

秋といえば、食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋など・・・  
楽しみ方は様々ですが、皆様はどのように過ごされますか？心地よい秋風や紅葉・秋の味覚で猛暑での疲れた体を癒し、寒い冬に備えてエネルギーを蓄えておきたいですね。寒暖差による体調不良にお気を付けて、皆様充実した「秋」をお過ごしください。  
(医事課 佐伯)

## ● 病院理念 ●

『最高のホスピタリティーを目指して』

私達は常に心と技術の両面から「最高のホスピタリティー」を目指し、継続的に院内環境を改善するよう努力してまいります。

### 基本方針

- 1) 地域社会との連携
- 2) チーム医療の推進
- 3) 豊かな人間性を持った医療人の育成